

縁結び課

1 三木創生の推進

人口減少に歯止めをかけ、まちの将来の展望を拓くため、令和3年度は、「第2期三木市創生計画 人口ビジョン・総合戦略」について、第1期に引き続き推進及び検証を行った。

(1) 三木市創生計画策定検証委員会の開催

産・官・学・金・労・言・士（産業団体・官公庁・大学・金融機関・労働団体・マスメディア・士業）の各界と市民が委員として参画する三木市創生計画策定検証委員会を開催し、三木創生で取り組む施策による効果を検証した。委員会は、新型コロナウイルス感染症拡大に対応すべく、リアルとオンラインによるハイブリッド型で実施した。また、委員会で使用する検証資料について、KPI実績のみでなく、各施策における事業から、その進捗及び今後の方針等を記載した形式に変更した。

ア 第1回三木市創生計画策定検証委員会

- (ア) 開催日 令和3年10月13日
- (イ) 内容 第2期三木市創生計画の検証等

イ 第2回三木市創生計画策定検証委員会

- (ア) 開催日 令和4年2月24日
- (イ) 内容 第2期三木市創生計画の検証及び第3版への改定等

(2) 第2期創生計画の改定

国及び県の新たな動きや新型コロナウイルス感染症による社会の変化等を踏まえ、市として創生計画を進めるなかで生じた一部事業の方向性や目標値の変更を行い、「三木市創生計画 人口ビジョン・総合戦略」を改定した。

ア 改定日 令和4年3月31日

イ 計画の期間 令和2年度～令和6年度

(3) 連携による事業

地方創生の推進に向け、地域資源を活用した様々な取組を加速するため、官公庁、民間事業者等と連携し、相互のノウハウ、ネットワークなどを活用することで市の活性化に取り組んだ。

ア 大和ハウス工業株式会社

令和2年2月に連携協定を締結し、本市の郊外型戸建住宅団地が抱える高齢化や、空き家などの様々な課題を解決する先行モデルとして、先進技術などを活用し、将来にわたりまちの活力を保ち続ける仕組みを導入した「多世代の住民が快適で永続的に循環しながら住み続けられるまち」づくりをめざす。

- (ア) 青山7丁目整備イメージ案の実現に向けた調整
 - a 都市計画審議会において、用途地域の変更を行った。
 - b 介護保険課において、福祉系事業者を公募し、施設整備及び運営事業者を選定した。

(イ) 造成工事に向けた準備

- a 土地所有者において、管理業務として造成工事前の草刈り等を実施した。
- b 許認可に係る調整作業を開始した。

イ 株式会社官民連携事業研究所

令和元年9月に連携協定を締結し、本市の地方創生に係る公民連携事業を実施した。

(ア) 株式会社トラストバンク

- a 期間 令和3年4月～令和4年3月末
- b 内容 テレワークや働き方改革に対応するため、株式会社トラストバンクが提供する、LGWAN環境で使用できるチャットシステム「LoGoチャット」を無償で試験導入した。

(イ) 大塚食品株式会社

- a 時期 令和3年7月～令和3年10月末
- b 内容 Cool Choice SDGs フードロス削減に向けた事業
清涼飲料水 24,000本の寄附

(ウ) 日本酒オンライン会議の開催

- a 時期 令和3年4月～令和3年10月 計4回
- b 内容 日本酒振興に係るオンラインイベントを関西学院大学日本酒振興プロジェクトゼミ生、有限会社なうなうと協働し実施した。

ウ 株式会社アシックス

令和3年10月に連携協定を締結し、スポーツを軸とした先進のデジタル技術やデータの活用により、市民の健康増進や市民サービスの向上につながる取組を推進した。

(7) スマートウォーキング事業

- a 期間 令和3年11月～令和4年2月中旬
- b 内容 スポーツや運動習慣を記録・分析するシステムやセンサー内蔵シューズ及びバンドを活用し、住民の歩数や位置情報を可視化することで、高齢者の運動不足解消につなげた。

エ 明治安田生命保険相互会社

令和3年9月に連携協定を締結し、特定健康診査の受診率向上や、市民の健康増進や市民サービスの向上につながる取組を推進した。

(7) 町ぐるみ検診の啓発

- a 期間 令和3年10月～
- b 内容 三木支店において、町ぐるみ検診の啓発チラシを配布し、啓発活動を行った。

(イ) 「私の地元応援基金」寄附

- a 金額 415千円
- b 内容 連携協定による取組の一環として、明治安田生命保険相互会社が実施する「私の地元応援基金」によって、介護・認知症対策の支援として415千円をご寄附いただいた。

オ サントリーホールディングス株式会社

令和4年3月に派遣協定を締結し、2025大阪・関西万博を見据え、専門的知識や経験を有する民間人材を受け入れることで、外部の視点を取り入れ、地方創生の推進をより一層強化していく。

(7) 出向社員の受け入れ

- a 期間 令和4年4月～令和6年3月
- b 内容 大阪での「水の都大阪」の魅力を発信するコンソーシアムプロデューサーやインバウンド旅行者をターゲットとした商品造成の経験を有する社員を派遣していただくこととなった。

カ 三木市ゴルフツーリズム連携支援計画の推進

三木市を中心とした産・官・学・金の各界から6つの支援機関が連携し、地域資源であるゴルフを核としたインバウンドゴルフツーリズムを推進するとともに、ゴルフ産業の担い手育成や先端技術を活用して生産性向上に取り組む事業を支援するための計画を策定し、令和2年6月28日に経済産業省から認定を受け、体験コンテンツ造成及び仕組みづくりを進めた。

キ 近畿経済産業局

2025年に開催される大阪・関西万国博覧会を見据え、市における地域特性を生かした持続的な活力あるまちづくりを実現するため、令和4年3月に近畿経済産業局と連携協定を締結した。

また、令和2年10月に近畿経済産業局地域ブランド展開支援室が進める地域ブランドエコシステム構想に係る10のモデル地域（令和3年度12地域に拡大）に選定されたため、前年度に引き続き、専門家によるブランド会議を行い、現状分析、課題抽出に加え、事業化に向けた検討や田植え、稲刈りに係る動画撮影に加え、稲の育成状況を定点撮影した。その他、他地域や民間事業者、金融機関が集い、意見交換を行う地域ブランドネットワークサロン会議に参画し、新たなネットワーク構築に努めた。

(7) 地域ブランド展開支援室ブランド会議

- a 第1回ブランド会議
 - (a) 開催日 令和3年6月10日
 - (b) 内容 昨年度の振り返り、今年度の事業計画案

- b 第2回ブランド会議
 - (a) 開催日 令和4年1月28日
 - (b) 内容 今年度事業の確認及び次年度以降の取組
 - (イ) 近畿経済産業局主催地域ブランドネットワークサロン会議
 - a 第1回地域ブランドネットワークサロン会議
 - (a) 開催日 令和3年10月6日
 - (b) 内容 事業者講演、各市取組事例紹介（三木市の取組内容を説明）
 - b 第2回地域ブランドネットワークサロン会議
 - (a) 開催日 令和3年12月15日
 - (b) 内容 事業者講演、地域ブランド関係者によるグループトーク
 - c 第3回地域ブランドネットワークサロン会議
 - (a) 開催日 令和4年2月25日
 - (b) 内容 事業者講演、各市取組事例紹介
 - (ウ) 近畿経済産業局×九州経済産業局広域連携ブランド企画

九州経済産業局から全国の産業局に対し、鹿児島県指宿市水産加工業協同組合から鯉節を削る金物を探しているとの依頼を受け、地域ブランドエコシステム構築に向け連携する近畿経済産業局からの紹介により、三木金物鮑によるコラボ商品開発を行った。
 - (エ) 近畿経済産業局への市職員の派遣
 - a 期間 令和4年4月～令和6年3月
 - b 内容 2025大阪・関西万博を見据え、近畿経済産業局に市職員を派遣することで、国の各種制度やノウハウの吸収や、人的なネットワークを構築することで、今後の持続的な施策推進に向けた環境づくりを行う。
- (4) 三木若者ミーティングの開催
- 市の施策、事業などに若者の意見を取り入れ、三木市をさらに魅力のあるまちとするため、若者の意見を聴取するイベント「三木若者ミーティング」を、全3回にわたって開催した。会議で出た意見を受け、試作品や取組状況等を確認し、参加者や関係者に共有した。
- ア テーマ 三木の事業者と協力した商品開発プロジェクト
- イ 参加校 関西国際大学、三木高等学校、三木東高等学校、三木北高等学校、吉川高等学校、神戸星城高等学校
- ウ 開催概要
- (ア) 第1回
 - a 開催日 令和3年7月10日
 - b 内容 オリエンテーション（リモート形式で開催）
 - c 参加人数 26人
 - (イ) 第2回
 - a 開催日 令和3年10月2日
 - b 内容 グループワーク（対面形式で開催）
 - c 参加人数 26人
 - (ウ) 第3回
 - a 開催日 令和4年1月8日
 - b 内容 グループワーク（対面形式で開催）
 - c 参加人数 28人
 - (エ) 第4回 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止

第4回でグループワークにて協議した結果を発表していただく予定であったが、中止となったため、その後については、事業者に対して後追い調査を行い、公開可能な場合に商品開発状況等を市HP等で順次公開予定。
- (5) 企業版ふるさと納税に係る取組
- 令和2年8月21日に認定された地域再生計画「三木市まち・ひと・しごと創生推進事業」に記載されている事業に対する、市外企業からの寄附を募りました。
- ア 寄附件数 1件

イ 寄附額 100 千円
 ウ 事業者名 A-LIFE 株式会社
 エ 寄附目的 多文化共生社会形成事業

2 インバウンド戦略の推進

訪日外国人の増加に伴い、国では、訪日外国人観光客を令和2年時点で4,000万人、令和12年時点で6,000万人を目標とするなど、観光先進国をめざしていた。しかし、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた戦略に方針転換を行った。当市においても、西日本一の数を誇るゴルフ場や金物に代表されるモノづくりの文化をはじめとした、地域資源を体験するコンテンツ造成による受入体制の構築を、公民連携により実施した。

(1) ひょうご観光本部との連携事業

ア 訪日外国人の誘客に向けた取組

コロナ禍でインバウンド需要が無くなる中、アフターコロナを見据え、ひょうご観光本部、兵庫県北播磨県民局と連携し、体験コンテンツ造成事業を実施した。また、2025大阪・関西万国博覧会や2026WMG関西を見据えた、オンラインファミトリップ用の動画をひょうご観光本部と連携し、制作した。

イ ひょうご観光本部観光プロデューサーによる現地調査・視察

- (7) 開催日 令和3年9月3日、11月29日
 (イ) 内容 庖丁鍛冶製造体験

3 みきで愛（出会い）サポートセンター事業

少子化の主な要因の一つである「晩婚化」への対策として、結婚を希望する男女に出会いの場を提供する事業を「みきで愛（出会い）サポートセンター」に委託して実施した。

当センターの出会いサポート部会では、出会いサポーターが仲人役となり見合いを実施し、成婚へと導いた。

(1) サポートセンター実績

ア 理事会等

日時・場所	内 容 等	出席人数（人）
令和3年6月8日 新型コロナウイルス 感染拡大防止により 書面にて開催	第1回 理事会 1 協議事項 (1) 令和2年度事業実績報告について (2) 令和2年度収支決算報告について (3) 令和3年度事業計画（案）について (4) 令和3年度収支予算（案）について	理事 8 事務局 4 合計 12

イ サポートセンター登録者数（令和4年3月31日現在）（単位：人）

	20代	30代	40代	50代	合計
男性	2	49	42	19	112
女性	11	48	34	3	96
合計	13	97	76	22	208

ウ 成婚カップル数 8組（通算135組）

エ メールマガジン登録状況（令和4年3月31日現在）（単位：人）

出生年代	登録数	性別	
		男性	女性
1990年代	55	23	32

1980年代	328	124	204
1970年代	194	103	91
1960年代	49	38	11
1950年代	6	5	1
合計	632	293	339

オ 広報啓発

(ア) 事業イベント案内

広報みき、エフエムみつきい、県サポートセンター、神戸新聞等

(イ) センター独自ホームページ、チラシ掲示（公民館等の公共施設等）

(ウ) マスコミ取材対応等

(2) 出会いサポート部会

ア 出会いサポーター登録状況（令和4年3月31日現在）

（男女別）

性別	人数（人）	率（%）
男性	8	33.3
女性	16	66.7
計	24	100.0

（年代別）

年代	人数（人）	率（%）
40代	1	4.2
50代	0	0.0
60代	7	29.2
70代	13	54.1
80代	3	12.5
計	24	100.0

イ 出会いサポーターによる出会いの導きで結婚成立 8組（通算122組）

ウ 出会いサポーター活動状況（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

No.	内 容	件数（件）
1	出会いサポートセンター事業のPRを行った件数	1,175
2	現在、相談を受けている件数（R4.3月末時点）	744
3	相談者の見合う相手を探した件数	770
4	相手を見つけ紹介した件数	535
5	両者を引き合わせた（お見合いを設定した）件数	407

※出会いサポーターからの報告に基づく件数

エ 情報交換会 ※毎月第4金曜日開催

日時・場所	主な協議内容	出席人数（人）
令和3年4月23日 13:30～16:00 教育センター 大研修室	第1回 1 協議事項 (1) 令和3年度イベントについて 2 情報交換	サポーター 18 事務局 3 合計 21
令和3年6月25日 13:30～16:00 教育センター 大研修室	第2回 1 協議事項 (1) コロナ禍での集合イベントについて 2 情報交換	サポーター 20 事務局 2 合計 22
令和3年7月30日 13:30～16:00 教育センター 大研修室	第3回 1 協議事項 (1) 赤い糸プロジェクトについて (2) 10月開催のイベントについて (3) 広報みきの掲載について 2 情報交換	サポーター 18 事務局 2 合計 20

令和3年8月27日 13:30~16:00 市役所中会議室	第4回 1 協議事項 (1) 広報みきの掲載について (2) サポーター同士の電話時間(8-21時)について 2 情報交換	サポーター 18 事務局 2 合計 20
令和3年9月24日 14:00~16:00 市役所大会議室	第5回 1 協議事項 (1) 広報みきの掲載について (2) 縁結びひろば(11/21)について 2 情報交換	サポーター 19 事務局 2 合計 21
令和3年10月22日 13:30~16:00 教育センター 大研修室	第6回 1 協議事項 (1) 赤い糸プロジェクトについて (2) 縁結びひろば(11/21)について 2 情報交換	サポーター 18 事務局 2 合計 20
令和3年11月26日 13:30~16:00 市役所大会議室	第7回 1 協議事項 (1) 縁結びひろば(11/21)について (2) 新年会の開催について 2 情報交換	サポーター 20 事務局 2 合計 22
令和3年12月17日 13:30~16:00 教育センター 大研修室	第8回 1 協議事項 (1) 赤い糸プロジェクトについて (2) 再婚者イベントについて 2 情報交換	サポーター 19 事務局 2 合計 21
令和4年1月28日 13:30~16:00 市役所大会議室	第9回 1 協議事項 (1) 新規相談者の担当者決定について (2) 縁結びひろば(3/6)の延期について 2 情報交換	サポーター 20 事務局 2 合計 22
令和4年3月25日 13:30~16:00 市役所大会議室	第10回 1 協議事項 (1) 新規相談者の担当者決定について (2) 再婚者イベントについて 2 情報交換	サポーター 19 事務局 2 合計 21

オ 相談者(結婚希望者)受付件数 (単位:件)

区分	男性	女性	合計
サポートセンター受付	15	16	31
出会いサポーター受付	9	17	26
合計	24	33	57

カ サポーター企画(登録者を対象としたお見合いイベント)

日時・場所	内 容 等
令和3年11月21日 13:30~16:00 三木南交流センター 体育館	「みき縁結びひろば」 1 内 容 回転お見合いやフリータイムを実施 2 参加予定者 男性33人 女性22人 3 カップル成立 9組

キ 赤い糸プロジェクト

相談者自らが名簿を閲覧し、気になる相手にお見合いを申し込む。

- (ア) 開設日時 毎月第2日曜日 13:00~16:00
平日 9:00~16:00
- (イ) 開設場所 三木市立市民活動センター2階（毎月第2日曜日）
三木市役所縁結び課内（平日）※要予約

(ウ) 名簿閲覧受付状況 (単位:人)

区分	男性	女性	合計
第2日曜日受付	34	9	43
平日受付	23	17	40
合計	57	26	83

(3) 出会い交流（みきハート）部会（三木商工会議所青年部等で組織）

- ア みきハート会員数 8人
- イ みきハートによる出会いの場の創出での結婚成立 0組（通算13組）
- ウ 三木ハート部会 1回開催（令和3年12月15日）
- エ 三木ハート主催お見合いパーティー等

日時・場所	内 容 等
令和3年12月26日 14:30~16:30 ANAクラウンプラザホテル	ウィンターパーティー 1 参加者 男性13人 女性13人 2 カップル成立 4組

(4) 当センターに登録した、みきで（出会い）愛婚活応援団が主催する婚活イベントをPRする。

- ア みきで愛婚活応援団登録数 6団体（令和4年3月31日現在）
- イ みきで愛婚活応援団主催お見合いパーティー等

日時・場所	内 容 等
令和3年4月4日 12:30~16:30 三木南交流センター 体育館	おしゃべりカップリングパーティー 1 主催者 Fairy Godmother 2 参加者 男性16人 女性15人 3 カップル成立 5組
令和3年7月4日 13:00~16:30 三木南交流センター 体育館	七夕カップリングパーティー 1 主催者 Fairy Godmother 2 参加者 男性20人 女性20人 3 カップル成立 7組
令和3年12月19日 13:00~16:00 三木南交流センター 体育館	恋するクリスマス 婚活&恋活パーティー 1 主催者 D-I planning 2 参加者 男性22人 女性23人 3 カップル成立 12組
令和4年3月27日 13:00~16:00 三木南交流センター 体育館	40代50代限定 恋するおとなの恋活パーティー 1 主催者 D-I planning 2 参加者 男性20人 女性15人 3 カップル成立 10組

4 定住促進事業

新たに市内に住宅を建築(取得)する際に課税される固定資産税と都市計画税の一部（土地は対象外）を助成し、若者世帯の転出を抑制するとともに、市内での定住を促進した。

地区別集計表

地区名	件数(件)	交付決定金額(円)
三木	166	9,078,000
三木南	12	765,000

別所	19	1,248,000
志染	6	352,000
細川	3	174,000
口吉川	2	132,000
緑が丘	76	6,063,000
自由が丘	66	5,095,000
青山	27	2,237,000
吉川	7	379,000
合計	334	25,523,000

5 結婚新生活支援事業

若者が婚姻に伴い必要となる新生活に要する費用（物件取得費、家賃、引っ越し費用等）の一部を支援することで、市内への定住及び転入を促進した。

- (1) 件数 41 件
- (2) 金額 10,014,000 円

6 移住・定住促進事業

市外からの若年世帯の転入を促進し、市内人口の減少及び、少子高齢化の抑制を図る。市内に転入する若者世帯が、市内に住宅を新築し、又は新築物件若しくは中古物件を購入する場合に、その取得費用の一部を支援し、県主催の移住イベント等に参加することで、Uターン及びIターン、Jターンの若者世代を支援する。

(1) UIJ ターン住宅取得支援事業

地区別集計表

地区名	件数 (件)	交付決定金額 (円)
三木	9	2,250,000
三木南	1	250,000
別所	6	1,450,000
志染	0	0
細川	0	0
口吉川	0	0
緑が丘	14	3,450,000
自由が丘	15	3,600,000
青山	7	1,700,000
吉川	1	250,000
合計	53	12,950,000

(2) 移住イベントへの参加

日時・場所	内 容 等	
令和3年7月10日 10:00~15:00 北播磨おいしんぼ館	1 主 催	兵庫県北播磨県民局
	2 イベント名	北播磨移住相談会
	3 来 場 数	15名、うち当市への個別相談1名
令和3年8月28日 11:00~15:00 オンライン	1 主 催	兵庫県東播磨県民局、兵庫県北播磨県民局、兵庫県中播磨県民センター、西播磨暮らしサポートセンター（兵庫県西播磨県民局）、カムバックひょうごセンター
	2 イベント名	播磨地域オンライン移住相談会
	3 来 場 数	6組、うち当市への個別相談2組
令和3年12月18日 14:00~16:00 オンライン	1 主 催	兵庫県北播磨県民局
	2 イベント名	オンライン移住フェスタ in 北播磨
	3 相 談 数	7名

7 ふるさと納税

ふるさと納税を推進し収入の確保を図るとともに、寄附者へお礼の品として特産品等を贈呈することで、三木の魅力を全国にPRした。

令和3年度は、テレビ局との連携を図り、返礼品および市の魅力を発信するため、テレビ朝日のポータルサイトを導入した。

受領した寄附金は、「こころのふるさと三木応援基金」に積み立てた。

(1) 寄附件数及び金額

ア 件数	17,923 件
イ 金額	614,007,000 円

(2) 返礼品（直営サイト分）

ア 協賛事業者数	144 社
イ 返礼品数	565 品目